

多職種連携教育について ～その歴史と国内の動向

筑波大学医学医療系 地域医療教育学
筑波大学附属病院 総合診療科 講師
文科省補助事業
『次世代の地域医療を担うリーダーの養成』
事業コーディネーター

吉本 尚(よしもと ひさし)

本日の次第

- 1、**自己紹介**
- 2、世界での多職種連携教育/実践の状況
- 3、日本での連携の状況
- 4、地域の医療・保健・福祉を支えるために求められる連携力
- 5、連携力をどう学ぶか？

自己紹介(1)

北海道函館市出身 筑波大学2004年卒

2004-2006 北海道勤医協中央病院 初期研修医

2006-2009 奈義ファミリークリニック/津山中央病院
家庭医療後期研修プログラム

2009-2011 奈義ファミリークリニック副所長

2011-2014 三重大学 総合診療科・家庭医療学

2014年7月- 筑波大学 総合診療科・地域医療教育学

2015年6月- 北茨城市民病院附属家庭医療センター

自己紹介(2)

総合診療／家庭医療

多職種連携教育／実践

アルコール関連問題

背景

2011年3月

医学教育モデル・コア・カリキュラム改訂

「医師として求められる基本的な資質」
患者中心の視点・地域医療・自己研鑽

「地域の医療を担う意欲・使命感の向上」

「地域の保健・医療・介護・行政と連携協力」

→地域医療研修での多職種連携の実施

本日の次第

- 1、自己紹介
- 2、**世界での多職種連携教育/実践の状況**
- 3、日本での連携の状況
- 4、地域の医療・保健・福祉を支えるために求められる連携力
- 5、連携力をどう学ぶか？

InterProfessional Education / Work

専門職連携教育/多職種連携教育
専門職間の協働実践/多職種間連携・協働

英国専門職連携教育推進センター CAIPE

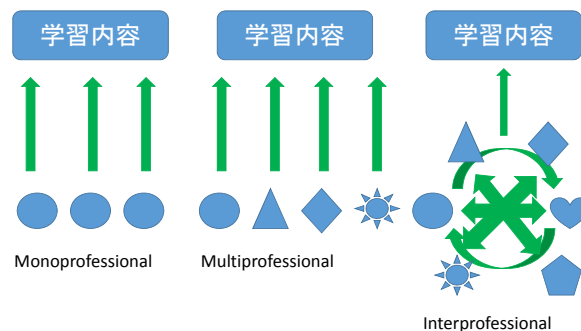
IPE “複数の領域の専門職者が連携およびケアの質を改善するために、同じ場所で共に学び、お互いから学び合いながら、お互いを学ぶこと”

IPW “複数の領域の専門職および、患者・サービス利用者とその家族が、平等な関係性のなかで相互に尊重し、各々の知識と技術と役割をもとに、自律しつつ、患者・サービス利用者中心に設定した共通の目標の達成を目指し、協働すること”

世界保健機構 WHO

「異なる教育背景を持つ保健関連職種の学生・医療従事者が、健康増進・疾病予防・治療・リハビリテーションなど業務を協調して提供できるようにするため、相互作用を重要目標として一定期間ともに学ぶ
プロセス」

Interprofessionalとは？



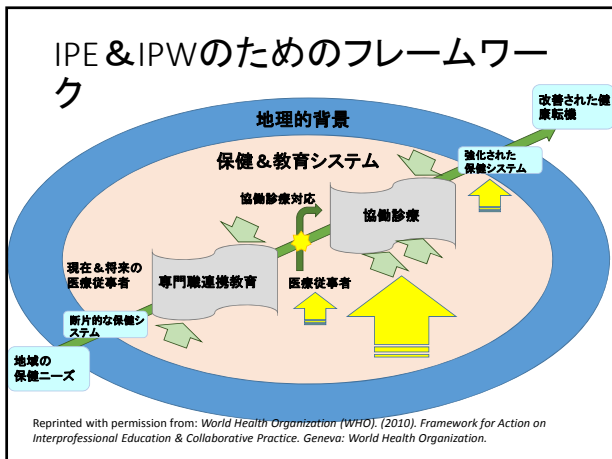
筑波大学 春田淳志先生スライドより

IPEの歴史(英国)

- 1987年CAIPE設立
 - CAIPE(Center of Advanced Interprofessional Education:専門職連携教育推進センター)
- 2000年2月25日;ビクトリア・克蘭ピア事件。
- 他の事件やコミュニティ・ケア政策などに対する調査活動や提言が提出。
- 2001年「Working Together – Learning Together(ともに働きーともに学ぶ)」という政府文書。

IPEの歴史(英国)

- 生涯教育とともに大学など専門職養成の教育課程において専門職連携教育の推進が提起され、各大学でIPEが教育方略として導入。
- ほとんどの医療福祉専門職を養成する高等教育機関では、専門職連携教育が実施。
- 特にソーシャルワーカーの養成に関しては新しい養成課程のカリキュラムに専門職連携を位置づけることが義務となった。

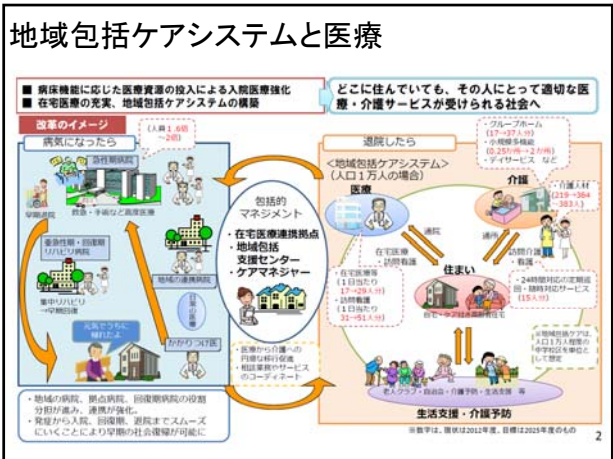


- ### ここまでのまとめ
- 現代の社会ニーズとして医療福祉専門職にはIPE・IPWの学習/実践は必須である。
 - 一番最初にIPE/IPWを導入した英国では、卒前教育で必修となりつつある。
 - IPE・IPWは相互作用、プロセスに焦点を当てる言葉であり、同じ場所で共に学び合うことで効果が最大になる。

- ### 本日の次第
- 自己紹介
 - 世界での多職種連携教育/実践の状況
 - 3. 日本での連携の状況**
 - 地域の医療・保健・福祉を支えるために求められる連携力
 - 連携力をどう学ぶか？



- ### IPEの歴史(日本)
- 各地の地域の病院では医療専門職種の協働は文脈に応じて実施されてきた。
 - 2003年; 埼玉県立大学 IPEを打ち出して授業開始。
 - 2006年; IPEに関する特色GPと現代GPが始動。
 - 2007年; 千葉大学玄鼻IPEが始動。
 - 2008年11月; 日本保健医療福祉連携教育学会 (Japan Association for Interprofessional Education : JAIPE) が設立
 - 2012年6月; 日本医学教育学会 地域医療・多職種連携委員会設立。



地域に存在する連携対象

「医療・保健・福祉に関連する職種」
どれくらい知っていますか？

医療・保健・福祉に関連する職種

医師 看護師 助産師 保健師 薬剤師 歯科医師 歯科衛生士 歯科技工士 理学療法士 作業療法士 言語聴覚士 視能訓練士 社会福祉士	精神保健福祉士 管理栄養士 救急救命士 臨床工学技士 臨床検査技師 診療放射線技師 介護福祉士 義肢装具士 はり師 きゆう師 あん摩マッサージ指圧師 柔道整復師 医療ソーシャルワーカー 臨床心理士 介護支援専門員
---	--

28職種

厚生労働省 資格・試験情報 http://www.mhlw.go.jp/houseirodoushou/hikaku_shiken/
(最終アクセス2015.6.25)

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 看護補助者(看護助手) 医療事務 メディカル・セクレタリー
(医師事務作業補助者) 手話通訳士 通訳(外国語) ボランティアスタッフ ヘルパー 福祉用具専門相談員 デイサービス職員 グループホーム職員 保健センター職員(権利擁護) 地域包括支援センター職員 児童相談所職員 養護教諭 病児保育担当者 院内学級担当者 | <ul style="list-style-type: none"> 医療機関内の掃除担当者 医療・福祉材料の業者 製薬業者 (医薬情報担当者:MR) 医療機器メーカー 警察官 検察官 刑務官 弁護士 自衛官 新聞配達 宅配サービス担当者 移動商店 タクシー・介護タクシー バス、鉄道、航空、
フェリー・漁業組合 |
|--|---|

- | | |
|--|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 葬儀屋 中毒・毒物センター 保険会社 社会保険・国民保険担当者 会社の人事担当 作業所スタッフ 教師(小学校・中学校・高校) 保育士 首長(知事、市長、村長など) 教育委員会委員 マスコミ(テレビ・新聞など) | <ul style="list-style-type: none"> 家族 近所の方、知人 町会、自治会の人 民生委員 組合繋がりの方 患者団体繋がりの方 自助グループスタッフ
(中毒・依存患者支援団体) 宗教家 法的後見人 |
|--|---|

多様な多職種・多業種のサポート



第2回 医療の担い手Project at 梅田スカイビル(大阪)

日本での連携の状況

卒前の状況

・養成校での多職種連携教育実施率は19%(後藤ら、2014)

卒後の状況

・光: 地域包括ケア～連携の場づくりが進む

・影: 介護保険以外の連携は？

3つの研究 現状把握

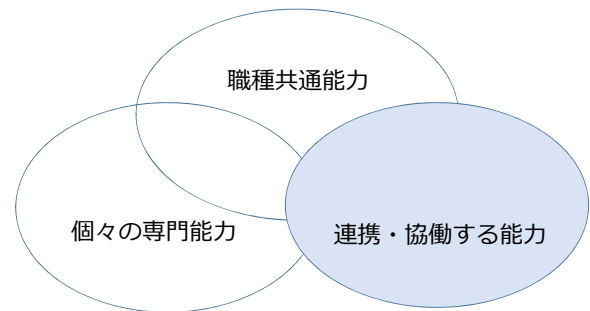
他職種の知識

連携技術

本日の次第

- 1、自己紹介
- 2、世界での多職種連携教育/実践の状況
- 3、日本での連携の状況
- 4、地域の医療・保健・福祉を支えるために求められる連携力
- 5、連携力をどう学ぶか？

多職種連携能力とは？



Barr, Hugh. A competency-based model of interprofessional education is commended to remedy weaknesses in knowledge-based and attitude-based models. It distinguishes between common, complementary, and collaborative' competences. Journal of Interprofessional Care12(2):181-187. 1998

Interprofessional team が直面する5つの課題

- **目標**: 目的と目標を明確にし、かつメンバーが合意している。
- **役割**: 日々の活動において、メンバー間で他のメンバーに期待していることにずれがないかを確認、あれば解決しておく。
- **問題解決**: 困難な問題への対応をどう扱うか？
- **実施方法**: チームにおける意思決定をどのようにしていくか？
- **対人関係**: チームメンバーはお互いどのような感情を持っているか？

Rubin, J., Bechard, R.: Factors influencing effectiveness of health teams, "Going Inter-professional Working Together for Health and Welfare, Routledge, 1994.

Interprofessional team が直面する5つの課題

- **目標**: 目的と目標を明確にし、かつメンバーが合意している。
- **役割**: 日々の活動において、メンバー間で他のメンバーに期待していることにずれがないかを確認、あれば解決しておく。
- **問題解決**: 困難な問題への対応をどう扱うか？
- **実施方法**: チームにおける意思決定をどのようにしていくか？
- **対人関係**: チームメンバーはお互いどのような感情を持っているか？

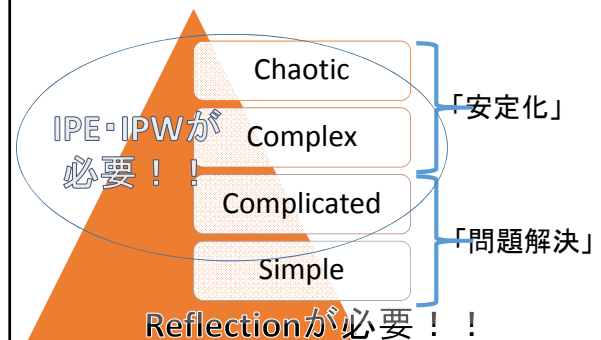
Rubin, J., Bechard, R.: Factors influencing effectiveness of health teams, "Going Inter-professional Working Together for Health and Welfare, Routledge, 1994.

複雑な臨床問題の構造

- **単純型(Simple)**
= アルゴリズムやプロトコルに沿って行えば対応できる。
- **複雑型(Complicated)**
= いくつかのSimpleな問題の組み合わせだが、相互に影響関係がありプロトコルがない。一般化可能なコツはある。
- **複合型(Complex)**
= Complicatedな問題に加え、個性の高い要因(時間、地域など)が関与し、一般化可能な対応方法を絞り込めない。
- **無秩序型(Chaotic)**
= 理解も予測も不可能で、それらが無秩序に影響し、予測できない。

Martin C, Sturmberg P: General practice—Chaos, complexity and innovation. Med J Aust 183(2):106-109, 2005
改変

問題設定から導く解決方法



日本での多職種連携コンピテンシー開発 (2013年度～)

日本保健医療福祉連携教育学会(JAIBE)
地域の医療・保健・福祉を支える「多職種連携力」を持つ中核的
専門人材育成プログラム開発事業(文科省・三重大)

日本医学教育学会
千葉看護学会(日本看護系学会協議会推薦)
日本歯科医学教育学会
日本薬学会
日本理学療法士協会
日本作業療法士協会
日本栄養学教育学会
日本社会福祉学会

協力団体(案)

日本医師会	日本精神保健福祉士協会
日本看護協会	日本栄養士協会
日本助産師会	日本救急救命士協会
日本薬剤師会	日本臨床工学技士会
日本歯科医師会	日本臨床衛生検査技師会
日本歯科衛生士会	日本放射線技師会
日本歯科技工士会	日本介護福祉士会
日本理学療法士協会	日本義肢装具士協会
日本作業療法士協会	全日本鍼灸マッサージ師会
日本言語聴覚士協会	日本鍼灸師会
日本視能訓練士協会	日本あん摩マッサージ指圧師会
日本ソーシャルワーカー協会	日本柔道整復師会
日本社会福祉士会	日本臨床心理士会
日本医療社会福祉協会	日本介護支援専門員協会

多職種連携に求められる能力

- 1.患者・利用者中心性 : 患者、サービス利用者、家族、地域中心
- 2.コミュニケーション : 職種間コミュニケーション
- 3.パートナーシップ : 信頼関係を築く
- 4.相互理解と職種活用 : 互いを理解し、専門性を活かす
- 5.ファシリテーション : 円滑な相互作用を促進する
- 6.リフレクション : 協働する視点から振り返り、俯瞰する

1. 患者・利用者中心性： 患者、サービス利用者、家族、 コミュニティー中心性

患者/サービス利用者のケアの向上のために、
協働する職種間で患者/サービス利用者、家族、
コミュニティーにとっての重要な関心事/問題に
焦点を当て、目標を共有することができる。

1. 患者・利用者中心性： 患者、サービス利用者、家族、 コミュニティー中心性

患者/サービス利用者のケアの向上のために、
協働する職種間で患者/サービス利用者、家族、
コミュニティーにとっての重要な関心事/問題に
焦点を当て、目標を共有することができる。

- ・職種間で「患者・利用者中心」と
思う内容が異なる
- ・目標が統一されていない

1. 患者・利用者中心性： 患者、サービス利用者、家族、 地域中心性

事例1
医師、看護師、理学療法士
80歳男性、肺炎で入院。入院前:車いす
軽度認知症あり
ゴール設定についてうまくかみ合わなかった

事例2
医師、看護師、ケアマネ
限られた限度額の中で、家族の負担軽減重視？
患者の医学的ケアを重視？

2. コミュニケーション： 職種間コミュニケーション

患者/サービス利用者のケアの向上のために、
職種背景が異なることに配慮し、
専門的知識や意見を互いにやりとりする。

2. コミュニケーション： 職種間コミュニケーション

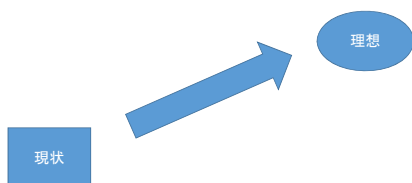
患者/サービス利用者のケアの向上のために、
職種背景が異なることに配慮し、
専門的知識や意見を互いにやりとりする。

使っている言葉・思考が違う

2. コミュニケーション： 職種間コミュニケーション

事例3

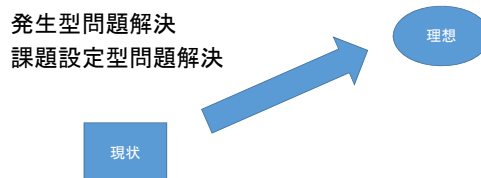
医師、看護師、介護福祉士、ケアマネ
「問題・課題解決」と「生活支援」のギャップ



2. コミュニケーション： 職種間コミュニケーション

事例3

医師、看護師、介護福祉士、ケアマネ
「問題・課題解決」と「生活支援」のギャップ



3. パートナーシップ： 信頼関係を築く

患者/サービス利用者に協働したケアを
提供するために、相手を尊重し、
信頼関係を築くことができる。

3. パートナーシップ： 信頼関係を築く

患者/サービス利用者に協働したケアを
提供するために、相手を尊重し、
信頼関係を築くことができる。

顔の見える関係性
職種によらない個人特性の把握

3. パートナーシップ： 信頼関係を築く

事例4 ケアマネ

いつも常に「積極的に」治療を進めようとする医師Aと
いつも常に「消極的に」治療を進めようとする医師B

その背景として、

医師Aは積極的にかかわらず失敗した経験、意識しないと
消極的になってしまう個人的な性格

医師Bは積極的な介入でトラブルに巻き込まれた経験、
在宅では静かに療養してほしいという個人的な思考

4. 相互理解と職種活用： 互いに理解し、専門性を活かす

患者/サービス利用者に協働したケアを
提供するために、職種の特徴や役割および
活動状況を理解しあい、活かしあうことができる。

4. 相互理解と職種活用： 互いに理解し、専門性を活かす

患者/サービス利用者に協働したケアを
提供するために、職種の特徴や役割および
活動状況を理解しあい、活かしあうことができ
る。

お互いの職種・役割について知る
活用方法について知る

4. 相互理解と職種活用： 互いに理解し、専門性を活かす

事例5

ケアマネのバックグラウンド

事例6

医師とのコンタクト

5. ファシリテーション： 円滑な相互作用を促進する

患者/サービス利用者に協働したケアを
提供するために、関係構築を援助し、
各専門職が能動的に関われるよう働きかける。
また、時に生じる職種間の葛藤に
対応することができる。

5. ファシリテーション： 円滑な相互作用を促進する

患者/サービス利用者に協働したケアを
提供するために、関係構築を援助し、
各専門職が能動的に関われるよう働きかける。
また、時に生じる職種間の葛藤に
対応することができる。

チーム全体を活性化させる
グループ員の関係性に注目する

5. ファシリテーション： 円滑な相互作用を促進する

事例7 ケアマネA

しゃべりすぎる薬剤師、いつもけんかになる医師とケアマネB、しゃべらないヘルパー、この方々が参加する会議を運営するのは本当に骨が折れる。。。

6. リフレクション： 協働する視点から省察する

他者と協働する能力を高めるために、
連携協働した経験を俯瞰し、
自身や他者の感情、思考、行為、役割、価値観
を再考することができる。

6. リフレクション： 協働する視点から省察する

他者と協働する能力を高めるために、
連携協働した経験を俯瞰し、
自身や他者の感情、思考、行為、役割、価値観
を再考することができる。

多職種メンバーでの振り返りを行う

6. リフレクション： 協働する視点から省察する

・事例8

在宅での看取りの振り返り。お互いの役割について
考察。家族の感情への共感を看護師が担っていた
が、最後の数時間で急に様態が変わった時に、ヘル
パーがそばで付き添いながら看護師へ適切に電
話できたことが、安楽な看取りにつながったことを
知った。

本日の次第

- 1、自己紹介
- 2、世界での多職種連携教育/実践の状況
- 3、日本での連携の状況
- 4、地域の医療・保健・福祉を支えるために求められる連携力

5、連携力をどう学ぶか？

5、連携力をどう学ぶか？

5-1 文科省事業での多職種連携開発ワークショップ
・複雑性への対処

5-2 筑波大学 文科省未来医療GP ノンテクニカルスキル研修

・問題解決スキル研修

・MBTI (Myers-Briggs Type Indicator)®研修

・TEAMS-BR (人への接し方)

・TEAMS-BP (業務の改善の仕方)

・TEAMS-BI (仕事の教え方)

・コーチング研修

・チームビルディング研修

・ファシリテーション研修

・コンフリクトマネジメント

・タイムマネジメント